

『「こんにちは県議会です」飯田高校』開催概要

- 1 開催日時 平成25年1月29日（火）午後2時から午後4時5分
- 2 開催場所 飯田高等学校小体育館（飯田市）
- 3 出席者
飯田高等学校1学年の生徒の皆さん
平野成基議長、佐々木祥二副議長
広報委員
[清沢英男議員、甕 裕一議員、小池久長議員、藤岡義英議員、金子ゆかり議員、小林東一郎議員]
地元議員
[小池清議員、小島康晴議員、吉川彰一議員、高橋岑俊議員]
- 4 県政報告会
 - 議会制度の概要
 - 11月定例会の概要
- 5 ふれあいミーティング
テーマ1：「高校生が考える地域の諸課題」
テーマ2：「高校生が考える信州教育」
- 6 参加者 310名（生徒280名、傍聴者30名）



○ 開会【総合司会 佐々木副議長】

- ・ ただいまから『「こんにちは県議会です」飯田高校』を開催します。

○ あいさつ【平野議長】

- ・ 本日、飯田高等学校におきまして、「こんにちは県議会です」を開催しましたところ、多くの皆様に御参加いただきまして、ありがとうございます。また、開催に当たりまして、下澤校長先生を初め教職員の皆様方、そして1年生の皆様方に御協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。
- ・ 生徒の皆さん、「県議会」と聞いてどんな印象を持っているのでしょうか。市町村議会のように身近なものでもないし、国会議員のようにテレビにしょっちゅう出ることもない。そんなことから、遠い存在、あるいはかた苦しいという印象を持っているのではないかと想像をしているところです。
- ・ そこで、本日の「こんにちは県議会です」は、県議会のしくみや議会活動について、直接、説明をすることによって、県議会のことを知ってもらい、身近に感じていただく。それともう一つ、皆さんの若者の視点からさまざまな意見を出していただき、これからの議会運営に反映させていくことを目的として開催したところです。
- ・ 「こんにちは県議会です」は、今回で16回目となりますけれども、高校生の皆様に参加していただくのは、初めての試みとなるわけです。本日は、皆様方と議員とで意見交換をすることになりますが、皆様方には、かしこまらず、忌憚のない意見を出していただきまして、大いに議論ができることを期待しています。
- ・ 今後の県政発展のために実り多きものとなりますよう、生徒の皆さんを初め、参加された皆様方の御理解と御協力をお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

○ あいさつ【下澤飯田高等学校長】

- ・ 本日は、「こんにちは県議会です」飯田高校バージョンということで、平野議長初め県議会議員の皆様方に飯田高校においでいただき、誠にありがとうございます。
- ・ 本日の「こんにちは県議会です」では、「県政報告会」に続く「ふれあいミーティング」で、議員の皆様方と本校1年生が意見交換を行う運びになっていますが、生徒たちはまだ1年生で、こういった場面に不慣れなこともあり、また、緊張していることもあると思いますので、議事がスムーズに進行しない面もあると思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。
- ・ 総合的な学習の時間等を使って、キャリア教育を重視したカリキュラムを行っております。特に今年の1年生は、7月には東京や中京方面の大学・企業訪問、そして9月の終わりには、「飯田・下伊那で人生をつくる」と題し、保護者や同窓生など、地域の第一線で活躍する皆様方にゼミナールを行っていただきました。また、河野義行さんと心に響く講演会等も取り組んでまいりました。
- ・ そう考えてみますと、本日は大変貴重な機会をいただけたと、教職員、生徒ともども、大変感謝しています。本日は大変お世話になりますが、よろしくお願ひします。

○ 県政報告会

【進行 清沢議員】

- ・ 小学校の社会科学見学で県庁を訪れた時に、県議会の本会議場を見てもらったと思いますが、県議会議員の仕事場はその議場です。
- ・ 広報委員は、県議会議員57人が政策や考え方によって6つのグループ（会派）に分かれ、そのグループ（会派）から1人ずつ選ばれ、副議長が広報委員長を兼ねていますので、計7人で広報委員会が構成されています。
- ・ 広報委員は、県議会の広報が仕事です。県議会で話し合った内容を、新聞、チラシ、ケーブルテレビ、最近はツイッターも使っていますが、そういうものを通して県民の皆さんに広く知っていただくのが仕事です。それから、この場で皆さんとこうしているように、県民の皆さんに直接、県議会の制度や内容についてお話をさせていただくのも仕事の一つです。
- ・ 県議会制度の概要、昨年11月の定例会の概要について、お話をさせていただきます。

【県議会の役割としくみ、議会ホームページ、11月定例会の概要 金子議員】

- ・ 県議会の役割としくみをご紹介します。豊かで、より暮らしやすい長野県にするには、県民全員が集まって話し合うのが一番よい方法ですが、200万人以上もいる県民が一度に集まることは不可能です。そこで、県民の皆さんが代表者を選んで、代わりに話し合いを行います。この代表者を「議員」、話し合う場所を「議会」と言います。国は「国会」、地方では「議会」と呼んでいます。
- ・ 長野県では26の選挙区から58人が県民の皆さんの代表として選ばれます。ちなみに、飯田市からは3人、下伊那郡区からは2人の議員が選ばれています。
- ・ 次に、二元代表制について説明をします。地方自治体では、議会議員と首長の両方とも住民が直接選挙で選ぶ制度となっていますがこれを二元代表制と言います。二元代表制の特徴は、議員・首長がともに住民を代表するということです。県議会で決まったことを進めるのが知事で、県の仕事は、県議会と知事がお互いに意見を出し合い協力して進めます。これに対して国では、選挙で選ばれた議員の中から内閣総理大臣が指名され、内閣を組織して国会に対して責任を負うという議院内閣制をとっています。
- ・ 次に、議会のしくみを説明します。地方自治法に基づき、執行機関の長である知事が議会を招集します。本会議では、知事が事業の執行に必要な予算案や条例案などの議案について提案説明をし、議員は議案について質疑や県政に対する考え方について質問し賛成か反対かを決めます。そして知事は、県議会で決まったことを実施していきます。
- ・ 次に、議会の主な仕事を紹介します。県のきまりを定め、県の仕事をするために必要な予算を決め、それが正しく使われたか、そして県の仕事は県民のために行われているか調べます。また、国会や政府に対して、こうしてほしいという意見を出します。副知事など重要な地位につく人たちが知事が選ぶときには、議会の同意が必要です。

- ・ 議会の開かれるタイミングは、年4回行われる定例会と、必要のあるときに行われる臨時会があります。本会議は、議員全員で話し合って条例や予算を決める場です。飯田高校でも生徒総会で話し合うことがあるかと思いますが、県議会では本会議で話し合います。
- ・ 県の仕事を部門ごと分担して受け持ち、詳しく調べて本会議に報告する委員会という制度を設けています。県議会議員はどれか一つの委員会に入ります。県政は、財政や教育などいろいろな分野にわたっているため、より詳しく調査や審査をするため、6つの委員会に分かれて活動します。6つの委員会とは、県行政の総合的な企画調整や警察業務などを審査する「総務企画警察委員会」、福祉や医療分野などを審査する「健康福祉委員会」、環境の保全や商工業の振興などを審査する「環境商工観光委員会」、農林水産分野を審査する「農政林務委員会」、道路や河川の管理、また消防・防災などを審査する「危機管理建設委員会」、教育関係や公営事業の運営を審査する「文教企業委員会」です。
- ・ このほか、議会の運営が円滑に行われるよう日程などを協議する議会運営委員会や、必要がある場合、特定の課題について調査や審査を行うための特別委員会があります。特別委員会の例としては、県の決算について調査や審査を行う「決算特別委員会」があります。
- ・ 議会の活動は、原則として開会中に集中して行いますが、委員会については、必要があるときは閉会中でも委員会を開いて調査をしています。調査は、先進的な民間施設や現場などへ出向いて行います。調査の結果は、議会での議論などに活かされていきます。
- ・ 請願・陳情は、県の仕事について自分たちの意見や要望を議会に直接訴えることのできる制度で、年齢に関係なくどなたでもできます。請願と陳情の違いは、請願は紹介する県議会議員が1人以上必要だということです。例えば「信号、カーブミラーなどを取りつけて安全に歩けるように」など、県で行う仕事についてこうしてほしいというお願いを県議会あてに文書を出すことができます。県議会では皆様から提出された請願や陳情について審議し、その内容が適切と認められるものは採択して、県政に反映するよう努めています。
- ・ 次に、傍聴の御案内をします。議会の本会議や委員会の様子は、どなたでも傍聴することができます。傍聴は、先着順で受け付けていますが、耳が不自由な方には手話ができる人をお願いすることもできます。なお、実際に議場に来られない方は、インターネットで本会議を中継していますし、委員会の概要をまとめた番組をケーブルテレビ放送で見ることができます。
- ・ 次に、議会のホームページ等について紹介します。県議会では今年4月からホームページをリニューアルして、より見やすいものとし、議員の紹介や定例会の記録などを載せています。このほか、各委員会の調査など議会の主な活動は、ホームページの「写真で見る活動報告」のコーナーで紹介しています。
- ・ 県議会のホームページでは、本会議中継や主な活動、本会議や委員会の会議録など、県議会の情報を積極的に載せていますので、県議会のことを知りたいときごらんください。また、ツイッターを開設し情報発信したので、ぜひフォローしてください。
- ・ 昨年11月の定例会で議論された内容について紹介します。
- ・ 11月21日から12月7日まで11月定例会が開催され、知事からは「平成24年度一般会計補正予算案」、

「食品安全・安心条例案」など、30議案が提出されました。このような議案を審議するため、本会議の一般質問には31人の議員が質問に立ちました。審議の結果、知事提出議案30件を原案のとおり可決し、議員及び委員会提出議案では、6件の意見書を可決しました。

- ・ 一般質問での主な議論を紹介します。厳しい状況が続いている経済・雇用情勢への対応について議論しました。議員から、日本経済が後退局面に入った中、どのような対応をしていくのかとの質問をしました。これに対し、県からは、環境や医療といった将来有望な分野の販路開拓や資金繰り相談などに取り組む。また、県内主要企業への緊急の企業訪問を始めており、企業の動向やニーズを把握して必要な支援策を講じていくとの答弁がありました。また、議員からは、深刻な県内の雇用情勢に対して、どのような支援を行っていくのかとの質問に対し、県からは、ハローワークと連携した職業相談や職業訓練による技能修得など、県内各地域において、国など関係機関と連携した支援策に力を入れたいとの答弁がありました。
- ・ 次に、自然エネルギーの普及について議論しました。議員から、自然エネルギー産業は、雇用創出にもつながるため、県主導で開発を進めてはどうかとの質問がありました。県からは、自然エネルギー分野は内需拡大が期待できる有望分野の一つで、企業に対する技術的な助言や研究開発を行っており、今後も企業のニーズに応じたさまざまな支援メニューを活用して、産業振興に取り組むとの答弁がありました。
- ・ 次に、新たな県立4年制大学についての議論です。議員から、基本構想に対して県民から多くの意見が寄せられたが、どのように進めていくのかとの質問をしました。県からは、基本構想は、学部・学科構成も含め、県民の大きな期待に応えるため、十分検討を行い、できる限り早く方向づけをしたいとの答弁がありました。

【進行 清沢議員】

- ・ 耳慣れない言葉がたくさん出てきたかもしれませんが、今の説明で何かわからないことがあったら質問を出してください。
- ・ 特に発言がないようですが、後半の意見交換会に出してもらっても結構です。以上で県政報告会を終わります。今の説明で、皆さんが県議会に対して興味を持っていただければ大変ありがたいと思います。不明な点がありましたら、県議会に電子メール等で御意見や質問をお寄せいただけますので、御利用いただければと思います。

○ ふれあいミーティング（飯田高等学校1学年の生徒と県議会議員との意見交換）

【進行 佐々木副議長】

- ・ 「ふれあいミーティング」は、飯田高校1年生の皆さんと県議会議員との意見交換です。
- ・ 本日は、2つのテーマで意見交換を行いたいと思います。このテーマは、生徒の皆様を決めています。

- ・ 意見交換は、テーマに関して、初めに生徒の皆さん方から質問や御意見をいただき、それに対して議員から回答し、さらに、議員からの回答に対して、生徒の皆さん方から質問や意見を出していただき議員が回答するという繰り返しを行い、議論を深めながら進めたいと思います。

テーマ 1 「高校生が考える地域の諸課題」

【進行 佐々木副議長】

- ・ 最初のテーマは、「高校生が考える地域の諸課題」です。生徒の皆さん方が、普段から感じている地域の課題などについて、率直に御発言いただければと思います。

【男子生徒 Aさん】

- ・ 長野新幹線の開通によりストロー効果が起こり、長野県の東部で地方の事務所を廃止する企業が相次いだということを知りました。リニア新幹線の開通とともに、若者が都市圏へ簡単に通えるようになり、飯田市の少子高齢化の進行や、商業や産業の衰退が起こることが予想されます。そのことへの対策は考えているのでしょうか。

【小池（久）議員】

- ・ 分かる範囲で答えさせていただきたいと思います。逆にお尋ねしたいのは、リニア新幹線が来たほうがいいですか、来ないほうがいいですか。

【男子生徒 Aさん】

- ・ 僕は、リニア新幹線は来ないほうが良いと思っています。

【小池（久）議員】

- ・ では会場の生徒さんにお尋ねします。リニア新幹線は来たほうがいいですか、来ないほうがいいですか。来たほうが良いと思う生徒さんは手を上げてください。
- ・ 来たほうが良いという人の割合は少数ですね。私ども諏訪地域は、Bルートということで、30年間、ひとえに地域の発展ということで運動してきましたが、JRが民営化になり、予算の関係、また技術の日進月歩により、Cルートに決定されたわけです。
- ・ リニア新幹線は、この内陸部と、いわゆる太平洋、近畿を結ぶ大動脈、また東海道新幹線にもし何か事故があったときのための二重系統ということになっています。これは日本国内のみならず、世界に冠たる日本の国家プロジェクトです。
- ・ この飯伊地区においては、JRの不便さも多分あったと思いますが、中央道も開通しており、今は、三遠南信道の事業も行っています。言い方は大変失礼ですが、何百年に一度の大チャンスではないかと思っています。
- ・ 皆さんが懸念されているのは、ストロー現象で、この地域の方々が都会に行ってしまうのではないかということです。今の佐久平、また上田地域を見ますと、首都圏へ通勤・通学をしています。その人たちが中央へ行ってしまうわけでなく、一昨年の3.11の震災以後、地域のあり方、いわゆる防災とか危機管理のあり方というのが非常に重要視されてきました。

- ・ これからの日本人の生き方、ライフワークは、もう少しゆとりがあって、この飯伊地区のような豊かな自然があるところで暮らし、勤めは東京へ、夜はこちらで家族と団らんというライフスタイルになってくるといふ予想はあります。
- ・ 14年後にリニアが開通する予定ですが、そのときは皆さん、この地域の発展の担い手のみならず、日本、世界の中で活躍しているわけです。新幹線は県内に幾つも駅があり、牽引力のあるところに乗客が増えますが、リニアは、1県に一つしかない。飯伊が、広い長野県の南の玄関口として発展しようとしているわけです。
- ・ 皆さんが子供を育てる世代になってリニアを使うことになる、地域の発展を牽引するすばらしい計画だと思っていますので、この資源を皆さんに理解をしていただくとともに、今から利用していただくことを望むわけです。
- ・ 日本のコンピュータソフト開発のメッカはどこだと思いますか。今は鎌倉です。シリコンバレーじゃなくて、カマコンバレーという名前がつかまして、技術者が鎌倉に集結しています。なぜかと言いますと、山があり、海があり、自然があり、いわゆるインテリジェントの皆さんが創造的な発想を生むのに時間の流れがちょうどいいということで、技術者が集まっているわけです。皆さんは、大人に迎合するのではなくて、皆さんの時代の公共交通ですので、悲観的にならず、創造的な圏域をつくってもらいたいと思います。
- ・ 山梨県では実験線が早くからできまして、まちの構造などを新幹線駅がある65都市を対象に調査していき、概ね調査結果が出ています。リニアに関して、山梨県は非常に期待をかけていますし、この飯伊地区でも、新たなる日本の形、世界に冠たる飯伊地区を創造していくことで、地域おこし、今後の発展ができるのではないかと思いますので、もう一度皆さんで、お父さん、お母さん、お友達も含めて、議論をしていただければと思います。
- ・ 南アルプスを貫いて、環境問題とか、いろいろな問題はあります。賛否両論あつて、来ないほうがいいという人も当然いると思います。しかし、飯伊地区、長野県の将来を見て、その先の世界を見て、このプロジェクトはぜひ飯伊地区で支えていただき、その後を長野県の県民が支えていくというのが大事かと思ひます。

【男子生徒 Bさん】

- ・ 飯田・下伊那は、自然豊かですが、そこに首都圏から人が集まってくるということをおっしゃったのですが、その予想は甘いと思ひます。
- ・ 例へば東京から飯田は遠いですから、運賃がかかりますよね。まずそのコストがかかる。東北新幹線には那須塩原という駅があつて、その周りは那須高原で自然が豊かです。さらに多摩ニュータウンでは、自然豊かなニュータウンがつくられようとしています。そこでの競争ですから、そこまで人が集まるとは思えないのですが、その点についてはどうですか。

【小池 (久) 議員】

- ・ 先ほども申しましたが、地域間競争になるのは、当然ですし、その地域はそれぞれで努力をしてい

かなくなくてはならないわけです。

- ・ リニアの運賃は幾らなのかという話だと思いますが、県の時間的試算だと、東京から名古屋まではおおむね45分ぐらいです。各停になると、ここから品川までは45、46分。名古屋まで20分です。JR東海による運賃の試算ですが、東京から名古屋まで、リニアの場合は、新幹線の料金プラス500円、大阪まではプラス1,000円です。そこに通学割引等や通勤割引が加味されると、相当安いコストで行けることとなります。
- ・ 皆さん、これから大学へ進学をされる。長野県は特に県外へ就学されることが非常に多く、85%の方が県外の大学なり専門学校へ進学されています。失礼ですけど、親御さんが仕送りをしたり、アルバイトをしている。そうすると、県外にアパート代とか皆さんのいろいろなお金が落ちることになる。地域貢献や親御さんの安心とか、皆さんの心配事を含めると、やはり家から通ったほうがいいというのが、当然ですね。
- ・ もう一つ、皆さんにもっと大胆な発想をしていただきたい。地球の年齢はおおむね46億歳です。それを1年間に換算すると、今は、364日と23時間59分59.5秒です。1秒が150年で、この150年間に私たち人類は、地球が46億年かけてきた化石エネルギーをほぼ使い果たしてしまい、この先50年で化石燃料がなくなる。これからは公共交通に頼らなければいけない時代が来るわけです。そんな中で、私たちがイマジネーションを深めるためには、このリニアは、大切な地域の資源となり得ると思いますので、できればマクロ的な地域の発展を、これからの日本を支えていく皆さんですから、そう考えていただくと夢がもっと広がると思います。

【男子生徒 Cさん】

- ・ 先ほどのA君の話ではストロー現象の話、そして小池議員さんからは、地域の発展、大胆な発想という話がありました。具体例としまして、東海道新幹線の岐阜羽島駅周辺では、空き駐車場が目立ち、店舗、民家が少ないように思われます。リニアの駅でも同じようになることが考えられます。現段階において、具体的に駅周辺に店舗、またアパートが建つような計画はありますか。

【小池 (久) 議員】

- ・ 今、飯田市も含めこの近郊の自治体では、規制をかけ始めていると思います。無作為に開発してはいけませんので、例えばここは店舗、ここは居住ということで。あと14年ですので、そろそろ地域のランドデザインを書いていかなくてはならない時期です。
- ・ 新幹線を誘致している自治体は、大体、開業の5年ぐらい前から、企業の誘致とか、ランドデザインを考えてきていますので、これから、周辺の自治体は、デザインを描く時期にきまして、具体的な地域の形が出てきますので、そのときには、その計画に参画していく方もあると思います。
- ・ 地域は、自然が豊かなほうがいいし、皆さんが、東京とか名古屋へ行きたいのは、刺激があったほうがいいのか、いろいろ事情もあるわけですが。長野県民としては、先祖から受け継いだ大切な地域ですので、自然環境を含めて残していただきたいと思います。具体的にこの会社に来るとか、投資があるということはこれからだと思いますが、しっかりと地域の姿を描いて、投資を呼び込むというこ

とが、これから、皆さん、住民の方も含めて必要な時期になってくると思います。

【女子生徒 Dさん】

- ・ 東海地震が何年か後に到来すると言われていています。もしも東日本大震災のときのようなマグニチュード9.0の地震に見舞われたら、もし浜岡原発を再稼働していると、福島悲劇の繰り返しになってしまうと思います。また、昨年の夏は、原発を稼働せずとも夏を乗り切ることができました。だから、私は原発の再稼働には反対ですが、議員の皆さんはどうお考えですか。もし再稼働に賛成ならば、福島悲劇を繰り返さないための対策を教えてください。

【甕 議員】

- ・ 原発の再稼働について、どう考えているかということで、浜岡原発が再稼働していると、マグニチュード9.0という東日本大震災並みの災害があった場合、大変な事故になるのではないかとことです。
- ・ まず、皆さんにも認識を変えていただきたい。原発を再稼働すれば危険、再稼働しなければ安全と考えている方、大勢いらっしゃると思いますが、原発は、再稼働すれば危険で、しなければ安全というのは、科学的に考えてもちょっと違ってきます。
- ・ 原発は、再稼働しなくても、日本中の原発に使用済み核燃料があります。この使用済み核燃料は、放射性物質を大量に含んでいて非常に危険だということで、浜岡も含めて、今、日本中の原発は、大飯以外は停止していますが、日本中に約2万トンあると言われていています。停止している今の状態でも、3連動（東海・東南海・南海）の地震が起きた場合は、福島と同じか、それ以上の危険を伴う可能性が非常に大きいということです。再稼働をしても、しなくても、全国の原発に対する安全対策はしなければいけないと考えています。
- ・ 3.11の震災のときにも、福島第一原発の4号炉は、稼働していませんでした。でも事故は起こりました。福井の敦賀原発の下には活断層が入っていると、実際に動いていないところですけど、使用済み核燃料があつて、今の状態でも危険を伴うということで、調査をしているということです。
- ・ 長野県の場合、この南信の地域は、浜岡原発から半径100キロ以内に飯田市内も入る。北信は、新潟の柏崎刈羽原発から半径50キロ以内に飯山市とか栄村の一部が入ります。また、石川県の志賀原発からの半径100キロ以内に小谷村の一部がかかります。長野県も南北で原発の立地県と隣接していますので、長野県議会においても、原発の問題が議論になりました。昨年の9月の一般質問の中で、阿部知事の発言があります。
- ・ 「エネルギー政策は国家の基本政策でありますので、将来を見据え、国が責任を持って取り組んでいただきたい」と言っています。ただ、長野県でも、国の政策だから何もやってないわけではなくて、県の動きを紹介しますと、長野県防災会議の原子力災害対策部会が昨年の12月20日に会議がありまして、具体的な取り組みなどについて、話し合われました。原発で放射性物質の漏洩につながる事故等が発生した場合に、長野県に対して、直接、通報連絡を行う体制を整備していく。これは、浜岡原発、

柏崎刈羽原発についてです。

- ・ それから、県民や市町村職員を対象として、放射能や原子力災害について学ぶ研修会の開催。そして空間放射線モニタリング等の実施要領を策定しています。
- ・ さらに、原発がない長野県として進めるべき対策は何か、どう進めるかということで、部会の中で、放射性物質防護対策、健康被害の防止とか、屋内退避・避難、それから原発に近いところの県からの避難者の受け入れ、また市町村職員への知識の普及とか、市町村を通じて住民への知識の普及、他県と連携した訓練を具体的にやっっていこうという動きがあります。

【男子生徒 Eさん】

- ・ Dさんの質問につけ加えですけど、Dさんは、原子力発電の浜岡原発を稼働するべきか、しないべきか、その意見を聞かせていただきたいという話だったんです。
- ・ お話を聞かせていただくと、稼働しても、稼働しなくても、危険性は一緒、変わらないというお話だったので、稼働してもしなくても同じなら、稼働したほうがいいみたいな意見に聞こえてしまったのですが、もう一度、その意見を聞かせてください。

【甕 議員】

- ・ 稼働してもしなくても、稼働しない現在でも、危険性があるんです。稼働しなくても安全対策はやらなければならないということで、再稼働が問題ではないということです。

【男子生徒 Fさん】

- ・ 再稼働しなくても安全性はない、少ないということですが。そういうことは、つまり、再稼働するか、廃炉にするかということですよ。そうした場合、今、新潟県と静岡県と東京都と大阪府で、廃炉の決議を実施する住民投票の議案が、どの自治体でも否決されました。廃炉に対する住民投票を、長野県議会は、採決するのか、しないか、採決を検討しているかどうか、お願いします。

【甕 議員】

- ・ 住民投票というのは、そこに原発が立地しているところの住民の方が決めることですので、長野県で、他県、他地域の住民投票についてということは、議論になった経過は今のところありません。浜岡原発も、おとし、当時の菅総理大臣が停止させていて、それから間もなく、私も浜岡原発に行つて話を聞きました。浜岡は今止まっていますが、廃炉にするまで30年かかるということです。
- ・ 廃炉にしても、取り壊す作業員たちの健康被害を考えると、放射性物質が自然に減っていくのを待つしかありません。コバルト60という物質は10年で半分に減ります。次の10年でまたその半分に減っていきますので、20年たつて4分の1に減るということです。廃炉の作業をするまでに最低でも30年ほどかかるということです。
- ・ また、エネルギー問題があります。原発を止めた場合に、代替エネルギーも含めて、議論をしなければならぬと思います。長野県の場合、先ほどDさんの御質問にありましたが、今年の夏は非常に猛暑で暑かったけれども、原発を稼働しなくても夏を乗り切れたから大丈夫だと。確かに去年はそうでした。でも、今後、どうなるかわからない。

- ・ 国際問題などに関連するところもあります。中部電力では原発を止めて、その代替りのエネルギー源は、火力発電所です。火力発電所を動かすには、化石燃料に頼らざるを得ない。だから輸入に頼らざるを得ない。液化天然ガス（LNG）の6割は中東のカタールから輸入しています。カタールって、どの辺にあるか御存じですか。ペルシャ湾のアラビア半島寄りにありますが、もし、アメリカとイランの関係が悪くなって、イランの大統領がホルムズ海峡を封鎖したとなると、カタールから燃料が入ってこなくなります。その時にはオーストラリアやインドネシアからも調達しなければならないし、シェールガスをアメリカからとかも考えなければならない。
- ・ 去年、原発のかわりに火力発電所を動かすのに、中部電力は、2年以上止めている武豊火力発電所を動かしているという、非常に危険な状態もあります。そういうところも考えなければならない。皆さんが今やっている勉強は答えが一つだと思いますが、再稼動がイエスカノーかということは、なかなか答えが一つじゃない、いろいろな問題がありますので、逃げるわけではないですけども、非常に難しい問題です。

【男子生徒 Gさん】

- ・ 2011年の地域別平均賃金は、松本が30万4,999円、下伊那が26万5,999円のように、下伊那の地域は長野県の中でも一番の低賃金地域となっていて、僕たちが大学卒業後に地元に戻ってきにくい状態になっています。さらに長野県では、大手企業の工場統廃合や人員削減が問題になっていて、これによって下請企業や孫請企業に影響が出て、下伊那の低賃金化が進むのではないかと思うのですが、このことについての対策をお聞かせください。

【金子議員】

- ・ 確かに長野県の10圏域の中で、平均月額賃金というのは、最高が松本地域、残念ながら最低が飯田地域ということになっていまして、その差は、23年度の結果では3万8,100円ということです。県下10圏域の平均賃金は29万2,966円です。それと比べても、やはり飯田というのは低いという現実があります。
- ・ 最も低い飯田地域と最も高い松本地域で比較しますと、産業別の賃金格差が大きいことがわかります。例えば情報通信業では松本地域が37万2,330円、飯田地域は25万615円。また、卸・小売業は、31万8,034円の松本に対して、飯田では21万3,500円です。それからサービス業では、松本、27万8,140円に対して、飯田は18万451円で、松本地域と飯田地域では、こうした分野において10万円前後の差がある。飯田地域では、こういった業種が他地域に比べて少ないということが推測されます。
- ・ こういった指標は、その時代に、そのエリアで、どのような産業活動が行われているかがわかる指標の一つで、それが、この飯田地域に住む人たちが、非常に心持ちよくなく生きているのかということとは、イコールではないと思っています。賃金だけの指標で比較することができないということです。賃金でも、男女別、年齢別、勤続年数、学歴別、産業別、企業の規模、正社員なのかパートなのか、雇用形態、管理職なのか生産労働者なのかで異なります。

- ・ それと、例えば東京に暮らしていると、大変、賃金は高い。みんな東京へ行きますよね。ところが、1部屋と台所、キッチンつきのお部屋を借りるのに、飯田で借りたら幾らでしょうか。東京で同じ広さの家賃は幾らでしょうかと比較した場合に、圧倒的に東京でその広さの同じアパートを借りるほうが高いわけです。収入に対して支出もたくさん出ていく。ですから、賃金を物価水準で割った数字を実質賃金という経済指標があります。これを比較するのも一つの手だと思います。残念ながら、長野県の10圏域ごとの物価水準という数字は出ていませんので、正確な回答にはなりません。賃金だけで比較検討されないほうがいいと思います。
- ・ 飯田にもすばらしい産業に取り組んでいる企業が幾つもあります。これからは、医療、環境、宇宙などの高付加価値のものを目指していくべきだということで、長野県も、産学官連携とか、技術支援、技術者の育成ということを応援しているわけです。おひさま進歩という企業が環境産業に取り組んでいますし、航空・宇宙、自動車産業で非常に目覚ましい実績を残されている多摩川精機というのも、飯田の地域にあります。高付加価値の企業を育てていくことが、大切なことだろうと思います。
- ・ 先ほど、大手企業の工場統廃合や人員削減を心配されていました。これが賃金とは別の論点で問題と捉えています。日本も、長野県も、特に南信地域は、製造業に特化しています。ここ1年半くらい、大変苦しい状況が続いていました。一つの大きな要因は、為替の問題だと思います。1ドル80円くらいと、ずっと厳しい状態が続いていました。通貨の為替というのは、皆さん、勉強してますでしょうか。
- ・ 海外の同じような産業との競争、中国とか東南アジアにシフトしていくのは、もちろん人件費の問題がありますが、ここに来て90円くらいになったことで、県内の各大手企業は、3月期決算を上方修正できるのではないかと。産業も息を吹き返す可能性があるということにもなっていますので、経済は、さまざま奥深いことがあります。高付加価値をつけて、この地域で産業が発展できるように、努力することによって、この地域もすばらしい地域になっていくと思います。
- ・ それから自然、伝統産業、あるいはこのエリアのよさを、皆さん、郷土愛の深い方たちがここにいらっしゃると思いますので、そんな視点も持つてはいかがかだと思います。

【女子生徒 Hさん】

- ・ 私ごとで恐縮ですが、私の父は、製造業に従事しているんですけど、日本のことになってしまうかもしれないですが、今度、安倍首相になって、経済を活性化するとよく言っていて、公共事業に投資すると言っていたんです。
- ・ 公共事業に投資をしたところと云っては悪いかもしれないですけど、そんなに製造業にそのお金が循環してくるわけではないと思います。なので、そういうところについてどう思うのかということ。
- ・ それから下伊那地域は、ガソリンの値段が高いと思うんです。長野県でも北信とかに行けば、ここより安いし、県外もすごく安いので、びっくりします。そういうところの対策はどう考えているのか、お聞きしたいです。

【金子議員】

- ・ 公共事業は、地域の皆さんが生産活動をする中で、一定の税金を納めていただきます。それを、みんなの共通の課題、例えばみんなが通る道路とか、災害を防止するための砂防の事業とか、河川の改修とかに充てていく。ほかにも福祉とかに充てていくのが税金の使い方ですね。
- ・ それで、民間企業を元気にしていく。それに対しても税金を使っていますが、これだけ厳しい状況になってきたときに、その対処療法ってわかりますか。例えばけがをして出血多量で止血をしないと命がとどまらないときに、止血しますね。公共事業は、経済対策として一つの手法と捉えています。税収が上がらないのに、税金をたくさん使っていくことは、借金を増やすことになりますから、それが野放図にされることは、問題ですから、財政規律と言いますけれども、これをしっかり歯止めしながら。
- ・ しかし、例えば多くの公共事業に携わる企業が、倒産してしまって、活動が立ち行かなくなる。あるいはそこから生まれるお金が出てこなくなることで、連鎖的にほかの経済活動に影響が出るのが懸念される場合には、公共のお金を使いながら経済を回すという政策の一つと捉えたらいいのではないかと思います。
- ・ それからガソリンの値段ですね。長野県は全域で、全国に比してガソリンの値段が高い地域です。今、ガソリンが上がっているのは、為替の問題です。輸出産業にとっては、円安は有利に働きますが、外から原油を買うほうにとっては、割高になるということですね。日本はエネルギーの多くを外から輸入しています。電気もそうですし、暖房もそうです。為替が安くなる、日本の円が安くなることは、買うほうにとっては高くなるということが一つあります。
- ・ それからガソリンを海外から運んで来て、港の近く、製油所、火力発電所などの機能が近いところは、ガソリンも安い値段ではないかと思います。長野県は内陸に運んできますから、輸送費とかも加わっていると推測もされます。そればかりではなく、石油産業独特の理由も含まれていると推測されますが、詳しいことを存じていませんので、調べてみたいと思います。参考に一部なればという御返答にとどめさせていただきます。

○ テーマ 2 「高校生が考える信州教育」

【進行 佐々木副議長】

- ・ それでは次のテーマ「高校生が考える信州教育について」であります。生徒の皆さん方が考えております教育問題につきまして、意見交換をしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

【女子生徒 I さん】

- ・ 高校入試で前期選抜を行っている科と、そうでない科があるのは不公平だと思いますが、行うか、行わないかを定める基準は何ですか。また、前期選抜での調査書というのは、テスト点プラス態度点と聞いていますが、態度点は客観的に考えて本当に公平なものと言えるのでしょうか。

【小林議員】

- ・ 皆さんにとって入試が一番身近な問題だと思います。前期選抜は、平成16年の高校の入学選抜から

実施されたものです。なぜ前期選抜をやるようになったかは、一つは、受験の複数機会、2回受験することができる機会を設けること。もう一つは、学力試験や調査書とは違った、いろいろな尺度で皆さんの実力を見たい、そういう入試を導入したいということだと思います。

- ・ 問題があるのも事実です。前期選抜でたくさんの方が不合格になります。自信を持てなくなった、毎日が大変だ、そういうような声も受験生の中からたくさんあります。また、前期選抜の「募集の観点」があるわけですが、学校によっていろいろな見方の配分がされているわけです。どういう基準で選ばれているのかがよくわからない。ほとんどの学校で、調査書をしっかり見て、面接、小論文等を実施していますが、どこに焦点が定められているのか、入試と違って、わかりづらいと思います。
- ・ また、前期選抜で合格した中学生は、そこで受験勉強をやめてしまいます。そうしますと同じクラスの中に、後期の学力試験を目指して一生懸命勉強する中学生と、合格したから楽になったという生徒と二通りに分かれてしまうという、問題も挙げられています。
- ・ 平成21年度に、前期選抜を行うかどうかは、それぞれの学校が決めることになりました。それまでは、すべての県立高校で行われていましたが、22年度の選抜からは自由に行うことになりました。
- ・ なぜ飯田高校は理数科で前期選抜を行って、普通科では行わないことにしているのか、校長先生にその辺の理由を聞いてみたいと思いますのでお願いします。

【下澤校長】

- ・ 大変難しい質問で、弱ったなという感じがあります。本校の普通科は、現在、前期選抜は、御存じのようにやっていません。理数科は、平成16年の前の段階から、いわゆる中学校長の校長推薦という形のとときから行っています。普通科は、先ほど議員さんのほうからお話があったとおりの説明でいいと思います。
- ・ 理数科は、もともと昭和43年4月から全国で始まったものでして、科学技術教育の振興ということをおねらいとしていました。それは、日本という国がものづくりの国であるということで、これが衰退すればだめだろうということです。長野県、この飯伊地域でも、ものづくり、製造業が盛んなわけです。本校としましては、そういうこともあって、理数科を、地域のニーズがある中で設置したわけです。
- ・ この理数科は、国でも、明確な志望動機と適性のある生徒が入学することを望むと言っています。それで、前期選抜では、本校は、面接も行っている中で、普通科以上に明確な志望動機が見えますので、これにつきましては、前期選抜も行い、それから後期選抜も行うということでやっています。
- ・ 県内の県立高校では7校が理数科を持っているわけですが、いずれの学校もそういう観点で前期選抜を行っています。

【女子生徒 Jさん】

- ・ 飯田高校は進学校ですから、理数科をなくし、文理別、学力別のコース分けを行ったほうが、学力、授業ペース、向上心も高まると思っています。私は文系であるため、理数科のあり方に疑問を持っていますが、なぜ理系だけ優遇されて、文系が放っておかれるような状況になっているのか、大変遺憾

にと思いますが、お答えいただければと思っています。

【小林議員】

- ・ 校長先生から、理数科の設置について話がありました。科学技術立国を目指して、理数教育を振興しなくてはいけないということですね。私の家内は、隣の県の高校の理数科の出身です。白衣を着て、エリート集団で、一クラスの約半数がお医者さんになっているそうです。ということで、県によってはエリート教育のような形で使われてきた経緯もあるわけです。
- ・ 長野県については、先ほど校長先生から話があったように、英語科、国際教養、国際文化といった特色学科が、長野県内に7校設置されています。あとは体育科、音楽科が1校ずつ。平成3年以降、子供の数が減ってきて、高校入学者も減少傾向となり、特色ある学校づくりが言われるようになりまして、理数科、英語科、国際教養学科が、学校の特色を出す学科ということで、学校の底力をさらにパワーアップするためにつくられていると考えるのが妥当かと思います。
- ・ 地域の希望、学校の希望によって、県教委と相談しながら特色学科を設ける形ですので、先ほどの校長先生のお答えにもありましたが、そういったものがつくられてきたということで御理解をいただきたいと思います。
- ・ 別の例ですが、文系に特化したものとしては、先ほどの国際教養のような学科だろうと思いますが。飯山の地域では、かつて3校の普通高校がありました。今、2校になりました。何年か後に1校になります。普通科が1校しかありません。選択の余地がないわけです。そうなりますと、そこでいろいろなものができる学校にしなければいけないということで、探究科が設けられました。それに普通科、体育科がくっついている学校です。探究科は理数系コースと、文系のコースと2つに分かれて授業が進められていくことになっています。
- ・ 普通科も、いろいろなコース制などの形で、皆さんの志望に沿えるコースが用意されていると思います。決して理数科が設置されているから、文系が下に置かれているという感覚は持たないでいただきたい。自分の希望をきちんと実現できるように、先生方、一生懸命、皆さんを指導して下さっていると思いますので、その範囲の中でやれることをしっかりやっていただきたいと思います。

【女子生徒 Kさん】

- ・ 先ほどのIさんの質問の回答のときに、前期選抜を行う理由を、入試の機会を複数回にすると言われたのですが、前期選抜のない学科は、チャンスが1回しかないし、長野県は高校が少ないので、すべり止めができないのですが、何か対策はありますか。

【小林議員】

- ・ 私は、東京でしばらく学習塾の講師をやっていました。東京の子供は、大体高校を3校から4校受けます。私立3校、公立1校が標準的な受験のパターンでしょうか。不合格になるのも経験をしたり、自分の志望している学校に合格するという例もあります。それに比べ、田舎は公立を1校受けて、普通、受験が終わりです。私も1校です。昔は、前期選抜はありませんので、みんな入試のときに一生懸命やったのかなと思います。

- ・ どちらかというと、試験のほうが圧倒的に、公平で融通のきく入試の制度だと思います。試験のために一生懸命準備をして、それで実力が試される。これが一番公平な形、見えやすい形だと思いますし、前期選抜がなくて1校1回になってしまったというのは、残念な部分もあります。前期で不合格になっても、また後期、同じ高校を受けるというお子さんが県内では圧倒的に多いので、そういうことを考えれば、受験の機会は、複数回あったにこしたことはないです。前期と後期は入試の性格が違うので、本当は観点をいろいろ変えなければいけないというところが大切だと思いますが、制度というのは、学校がある程度決めることですので、こういう生徒さんを取りたいということを学校が皆さんに問いかけているということですので、御理解をいただきたいと思います。

【男子生徒 Lさん】

- ・ 県議会の皆様に、3つ、質問というよりは意見と要望があるので言わせていただきます。長野県の小中学校は、11月上旬、また中旬からストーブの使用が可能です。飯田高校は、12月からストーブの使用が可能です。2年生、3年生の教室にあるファンヒーターは、午後になると元の電源から切られてしまいますし、教室内なのにオーバーを着用しているという姿をよく見かけます。その原因は、税込不足によって予算が少なくなってきたりして、灯油が手に入らないと聞くのですが、灯油代は上がっているのに予算が少なくなれば、灯油が手に入らないのは当たり前だと思うので、何とか予算を増やしてほしいです。
- ・ 2つ目は、飯田高校に大きな講堂をつくらしてほしいということです。飯田高校はよくゲストをお迎えして講演会を開くことが多いのですが、冬になると体育館が寒くて講演会が開けないという現状になっていますので、暖房設備のついた大きな講堂をつくらいただくとありがたいです。
- ・ 3つ目は、教育のシステムに関してです。飯田高校は、校長先生が各クラスに教科担当を割り振って、その教師が各クラスで授業をする形ですが、生徒側でどの教師の授業を受けるかを選べるようにしていただくとありがたいです。
- ・ この3つの意見について、検討していただくとありがたいです。

【藤岡議員】

- ・ まずストーブは、私、佐久から来たのですが、佐久はもっと寒いです。ある高校生の知り合いがいて、メールをやりとりしていたのですが、その高校生いわく、ストーブが昼で止まってしまうと。灯油が1日3リットルしか使えない。3リットルが多いか、少ないかは、議論が必要だと思うのですが。寒くてコートを着ている状況なのです。教育の機会均等ですから、長野県だけが全国に比べて寒いせいで、集中力が低下したらまずいです。寒いと集中力は落ちますよね。ですから、予算は増やさなければいけないという議論、県議会でやっています。やはり、そういった声があるからです。
- ・ 委員会で教育分野を議論する文教企業委員会でも、高校生の皆さんが寒さに凍えながらやっているということで、何とかしてほしいという話をしたら、何とかしたいと県の方も答えていますし、知事も、平成23年度の知事会見でも、日々の学習の環境というのは重要だ、これは何とかしたいと言って

います。でも何とかなっていないということですね。

- ・ 話によりますと、学校の先生が、うちは灯油が少ない、もっと灯油をくれと言いつらいらしいのです。ですから、大事なのは、高校生の皆さんももっと声を上げていいと思うのです。県議会も1月からツイッターも始めましたし、皆さん、メールもやりとりされていると思いますし、直接電話で匿名でもいいですけども、寒くて勉強できないと。本当はもっと集中したら、勉強、学力も高まるのに、長野県としては損失なので、当然の権利として声を上げていかれたらどうかと思います。
- ・ 教育の予算も減ってきていますが、どこかの予算が、限られたお金の中で増えたり減ったりしている中で、どれだけ声を上げるかにかかっていると思うので、ぜひ声を上げていただきたいと思います。
- ・ 2つ目の講堂については、これも予算が少なく、東信の高校では、体育館の屋根がぼろぼろで、それすらなかなか直ってないという話もあったり、やっと予算がついたという話があります。そういうものが本当に必要だという声がどれだけ上がるかによって、早くつくられるかという話になると思うので、ぜひ頑張って声を上げていただきたいと思います。
- ・ 3つ目のシステムについては、学校の先生と話し合っていたきたい。私たち議員がこうすべきだというよりは、より皆さんが学力を身につけるシステムは、皆さんと学校とが一緒に議論しながらつくり上げていくものだと思います。

【男子生徒 Mさん】

- ・ 予算のことで、自分からも一つ。学校の図書館にお金がなくて新しい本が買えなくなっているの、そちらにも予算を回していただきたいと思っているので、御検討をお願いします。

【進行 佐々木副議長】

- ・ 御要望は聞いておきます。

【男子生徒 Nさん】

- ・ 英会話の授業を行ってほしいという意見です。ALTの先生が2週間に一遍ぐらいの頻度で教室に来られて授業をしています。その時間は英語を用いてゲームをしたりする授業ですが、せっかくALTの先生がいるんですから、その時間を、有効活用して英会話の授業にしたらいいと思うんですが、どう思われますか。

【藤岡議員】

- ・ 皆さんがこうしてほしいという声は大事だと思います。先生にも話してほしいし、私たちもそういう声を受けとめましたので、文教企業委員会の委員の皆さんにも伝えたいと思います。よりよい教育現場をつくっていきましょう。

【女子生徒 Oさん】

- ・ センター試験の会場を選ぶ基準は何かを教えてくださいませんか。飯田市内にも、女子短期大学がありますが、試験会場として利用させていただけないでしょうか。飯田市在住の高校生だけ、1時間

以上もかけてセンター試験会場へ行くのは、不平等が生じていると思いますが、教えてください。

【小林議員】

- ・ 飯田・下伊那地方には、センター試験の試験会場がないから、大変不便を強いられているという話です。確かに飯田高校の皆さんは、信州大学農学部まで受験をしに行かなければいけないということのようです。大学入試センター試験は、センター試験を選抜の一つの方法として採用している大学、あるいは短期大学しか試験会場にできないんです。だから飯田地区でのセンター試験会場を確保するというのであれば、飯田女子短期大学にセンター試験に加入してもらって、それしか方法はないと思います。高校での実施は、大学入試センターが認めない形になっていますので、先ほどの方法がベストだと思います。
- ・ 私は、長野県が一番北の外れの雪のいっぱい降るところから来ていますが、北の外れでも、大雪の中、受験に行かなければいけない受験生もいます。私の選挙区が一番北の外れは野沢温泉村ですが、今1メートル50から2メートルぐらいの雪に覆われています。毎年、試験のときになると、雪が降るのかどうか、飯山線が動くのかどうかが大変心配されるところです。JRの駅まで車で20～30分、そこからJRに揺られて長野の試験会場まで1時間、計1時間半かかります。雪で運休ということがあり得るので、大変気を使って受験をされていますが、なかなか試験会場が遠い皆さん、本当に御不便をかけているということです。残念ながら、大学センター試験という性格上、どうしても自分の身近で受けられないことがありますので、御了承いただきたいと思います。

【男子生徒 Pさん】

- ・ すごく欲望という形になってしまいますが、長野県はすごく学校の休みが短いです。僕の親戚はほとんど兵庫県にいますが、夏休みに兵庫へ帰ったときに、うちだけ1週間早く帰ってしまうのが、すごく嫌なんです。長野県は総合的な学習の時間とかに授業を多くとっているということで、僕個人の意見ですが、そういうことは個人でやるべきであって、学校でやらなくてもやっていけるというか、休みを増やしてほしいということですが、どうお考えでしょうか。

【小林議員】

- ・ おっしゃるとおり、長野県は、長期の休みが大変短い、ただ春休みだけは長いところです。日本のほとんどのところで、7月20日前後から休みになって、8月いっぱい夏休みです。長野県の夏休みは、高校で30日に欠けるぐらいでしょうか。私が小学生のときは、3週間足らずです。20日ぐらいです。日本一遅く夏休みが始まって、一番早く夏休みが明けるわけです。
- ・ 文部科学省は、学校へ登校する日数を何日以上と定めておりますが、長野県の学校は、その文部科学省が定める基準よりも20日前後多くなっています。これは、学校でしっかり勉強してほしい、きちんと学校の生活をしてほしいということが、基本になっていると思います。ただ、夏休みが短くて、自分のいろいろなこと、あるいはいろいろなものに参加していく機会が奪われているということも、確かにあると思います。

- ・ ただ、県の教育の方針がそういう形になっているわけで、例えば議会で、夏休みを増やしましょうという議論は、そぐわないのではないかと感じます。教育委員会の中の先生たちの議論の中で、学校としてのあり方というのは、保護者の皆さんも含めて、考えていかなければいけないと思います。

【女子生徒 Qさん】

- ・ 県短の4年制化についてですが、薬学科がある国公立大学が全国的に少ないため、偏差値がすごく高くなってしまい、自分も少しは行きたい気持ちはあったのですが、今はあきらめの気持ちのほうが強いです。なので、将来、薬学科のある大学が長野県にできれば、あきらめずに頑張ろうと思う人も増えるかもしれないし、全国的に少ないので県外からもたくさん人が集まってくれると思います。私のクラスにも同じ意見の人が多のですが、このことについてはどうでしょうか。

【金子議員】

- ・ 薬学部を新県立4年制大学に設置希望があることを伺いました。薬学部の全国的な設置状況は、平成14年に大学数が46、定員数が8,200だったものが、平成23年には、学部設置大学数は73、そして定員数が1万3,189ということで、平成15、16年くらいから薬学部が増えました。定員数も急激に増やしましたが、平成20年をピークに定員数を減らしてきている状況があります。国公立大学は、73のうちの17大学です。国公立は、授業料が私立に比べて安かったりしますから競争率も高くなり、偏差値も上がるがあると思います。
- ・ 長野県の4年制大学の薬学部設置につきまして、準備委員会でも議論がありました。また、長野県独自に全県の調査をした結果があり、薬学部の設置を希望するかどうかを聞いています。高校生の方、企業の方、県民の方、それぞれに同じ質問をしたところ、それぞれ希望するのは1割に満たないというアンケート結果が出ております。
- ・ 薬剤師の国家試験を通りますと薬剤師という資格を持って社会に貢献していただくわけです。薬学の分野も、日々、進化をしています。医薬品も、ジェネリックという分野が拡大されたり、抗がん剤についても、新しい薬がどんどん出てきている。健康管理、医薬分業の中で薬剤師さんの果たす役割というのは大変重要です。平成22年からは、大学が4年制から6年制という大きな変更がありました。
- ・ 薬剤師さんは重要ですけども、資格を取っても、求めている企業とか、求めている就職口がどのくらいあるかということもありまして、これもアンケート結果ですけども、県内の薬学分野の人材が不足していると回答した企業の割合は、2.2%という結果です。
- ・ こういった概況を総合的に判断しまして、県費を補助してその人材を養成するという目的の県立大学に、薬学部を設置して、新たに学生を募集するのが適当かどうか。大学を始めますと、大学の運営という課題があります。会社と同じように、大学が存続していかなければいけません、赤字経営では皆さんに迷惑をかけるということもあります。そんなことを総合的に判断した結果、県立大学の4年制化において、薬学部の設置は見送られています。
- ・ 今、御質問をいただきましたQさんのような、目標を持って、夢を持って、こういった職業につき

たいという人材は、そういう仕事についても、きっとモチベーション高くいい仕事をしてくださる人材だと思いますので、夢をあきらめなければ、必ず結果がついてくるものだと思いますので、あきらめないで一生懸命勉学に励んで努力していただきたいと思います。頑張ってください。

【進行 佐々木副議長】

- ・ ここで、皆様方の先輩でございますが、地元の県議会議員から御発言があれば、よろしくお願ひします。

【小池（清）議員】

- ・ 先ほどリニアの話がありました。私たちが暮らしている中で、時代が、急速に変化している状況です。特に私たちの地域は、残念ながら交通網がなかなか整備されず、都会との格差が非常に広がっています。これから皆さん方も大学へ行かれたり、社会へ出るわけですけれども、地域ごとの格差をもう一度見直す時代になると思います。
- ・ それから今回の震災等もありましたけれども、一部の地域に都市機能が集中し、非常に危険だということも、経験したわけですので、日本の国内、できるだけ多極に分散して住めるところをつくったほうが良いという意見も出てきています。
- ・ そういうことから、交通網を整備することは、どこでも豊かに暮らせる日本になると思います。それが将来的に、私たちが住んでいるこの地域の発展にもつながりますし、皆さん方が大学を出て、再びこの地域で暮らせるような経済の基盤もできるということから考えて、高速交通網、リニアは効果があると思いますし、また、国際的に見ても、国の発展のため高速交通網整備に取り組んでいる国も多いわけですから、そう考えていただいて、この地域の発展、また皆さん方が将来この地域に住みたいという地域づくりに結びつけていけたらと思います。

【小島議員】

- ・ 私、幸か不幸か、今年度、文教企業委員長をやっていますので、ただいま、灯油を初めとした御要望、しっかり受けとめて頑張ります。

【高橋議員】

- ・ 私は、下伊那の松川町の県会議員ですが、先ほどリニアの問題、交通の便がいいのかどうか、あるいは、皆さん方、この現状を見たときに、要る、要らないというお話があると思いますが、昨年12月には、泰阜村出身の生徒がいれば分かると思いますが、県道1号線がありまして、千代と泰阜の境になりますが、そこに150メートルほどの橋ができました。これを村では、泰阜村の夜明けということ、全村民がお祝いをしているという地域もあります。
- ・ また、南には売木村がありますが、役場のすぐ裏手にある、平坦地が割合少ないところですが、その一番大切な土地を道路にして、やっとな道路らしい道路が一本開いたという地域もあります。
- ・ 優秀な皆さん方には、ぜひ都会の志向だけでなく、こういう地域で、こつこつと毎日頑張っている方がいます。皆さん方の新しい知恵をこの地域にぜひ出していただいて、貢献していただくことを

後輩の皆さんにお願いする次第です。

【進行 佐々木副議長】

- ・ 本日、生徒の皆様方からいただきました貴重な御意見・御提案等につきましては、今後の議会活動に反映したいと思っております。以上をもちまして意見交換を終了させていただきます。生徒の皆さん、ありがとうございました。

○ 議長所感【平野議長】

- ・ 初めて高校生の皆さんと意見交換をさせていただきました。1年生の皆さんからどんな意見、御質問が出るかなということで、正直、期待と、それから不安でスタートしたわけです。
- ・ 最初は、今、地元の県会議員の話もありましたとおりの、リニア中央新幹線の話がありまして、若い皆さんだから、当然、これに夢を持っていると思ったら、逆にかなりシビアな意見を聞かされまして、正直、私ども、びっくりしたわけです。
- ・ 自分の子供にも言われましたが、皆さん、15歳から16歳とのことですが、私の経験からいくと、本当に日本にとっても、下伊那にとっても、経済的に非常に厳しい時代がここ15、16年です。皆さんにとっては、例えば景気がよかったとか、就職は逆に引く手あまたで、自分を引っ張ってくれるとか、そういう時代を知らずに、就職は超氷河期が当たり前、日本の経済は不景気が当たり前という時代を過ごしてこられた皆さんだからこそ、いろいろな意味で、いろいろなことをシビアに見ているのかなと、正直、びっくりした次第です。
- ・ 原発、それからこの地域の経済の話も出ました。私ども、一生懸命答えさせていただきましたけれども、なかなか納得のいく答えにはならなかったかもしれませんけれども、お許しをいただきたいと思っております。
- ・ 教育の問題には、校長先生も加わっていただき答弁もいただきまして、本当にありがとうございました。一つ言えるのは、これだけいろいろな御意見も出ましたので、もっと言いたいこともあったのでしようけれども、もっと時間があればよかったということを反省しています。皆さんからいただきました御意見と、あるいは皆さんの気持ちを、これからの私たちの活動に生かしていきたいと思っております。言い足りない面は、メモでも何でも結構ですので、どしどしお寄せいただきたいと思っております。
- ・ 心から皆様方に感謝申し上げまして、私の所感とさせていただきます。

【生徒代表 Rさん】

- ・ 本日は大変お忙しい中、私たちのために貴重なお時間を割いていただき、ありがとうございました。
- ・ 県議会のしくみ、仕事、これからの方針などの説明は、とてもわかりやすく、ふだん、あまり知る機会のない県議会について知ることができました。また、討論会では、私たちのつたない質問に対して明快な回答をしていただき、県議会の考えをより深く知ることができました。

- ・ 今回、私たちが述べさせていただいた意見は、これからを担う私たちの願いです。ぜひ実現がかなえばと思います。本日は本当にありがとうございました。

○ 閉会【総合司会 佐々木副議長】

- ・ 以上をもちまして、『「こんにちは県議会です」飯田高校』を終了させていただきます。飯田高校の皆様方、そして、会場の皆様方におかれましては、長時間にわたり熱心に御参加をいただきまして、誠にありがとうございました。